

中小企業景況調査報告書

(第 105 回)

平成19年 1 ~ 3 月期 実 績

平成19年 4 ~ 6 月期 見通し

平成19年 4 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	6
(2) 今期の売上高	8
(3) 今期の採算（経常利益）	9
(4) 今期の資金繰り	11
(5) 今期の経営上の問題点	12
(6) 今期の従業員の動向	12
(7) 今期の新規設備投資	13
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	14
(2) 来期の売上高	15
(3) 来期の採算（経常利益）	15
(4) 来期の新規設備投資	16
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	16
2． 建 設 業	18
3． 卸 売 業	20
4． 小 売 業	21
5． サービス業	23
． 業 種 別 調 査 資 料	25

・ 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調 査 時 点 平成19年 4 月
- (2) 調 査 対 象 期間 平成19年 1 ～ 3 月期実績及び平成19年 4 ～ 6 月期の見通し

2. 調 査 対 象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製 造 業	建 設 業	卸 売 業	小 売 業	サービ業	合 計
小 規 模	42	57	48	70	49	266
中 規 模	20	12	29	20	24	105
合 計	62	69	77	90	73	371
構成比(%)	16.7	18.6	20.8	24.2	19.7	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 22社、建設業 17社、卸売業 8社、
小売業 21社、サービス業 20社、合計 88社

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

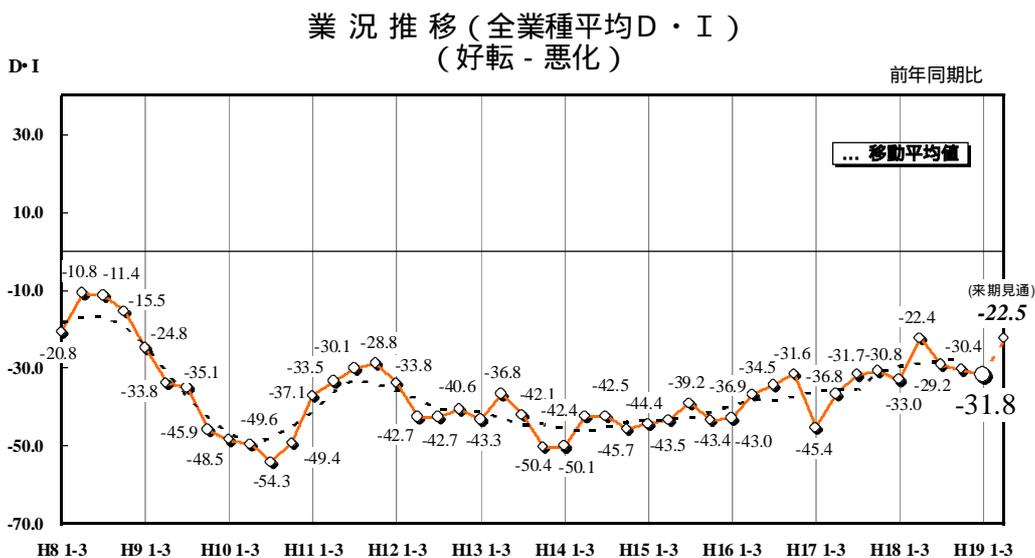
- 業況は依然マイナス水準で推移 -

今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（1月～3月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前期比（平成18年10～12月期の水準と比較した今期の業況）では 29.6、前年同期比（平成18年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 31.8と、業況は依然マイナス水準となっている。

業種別では、前年同期比で製造 29.1、建設 39.6、卸売 19.5、小売 28.1、サービス 43.0となっており、サービス業のマイナス幅が最も大きい。

前回の調査（平成18年10月～12月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前期比で前回 20.6 今回 29.6とマイナス幅が拡大しており、また、前年同期比でも前回 30.4 今回 31.8と1.4ポイントマイナス幅が拡大した。



業況を札幌市と札幌以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 30.6（前回調査 28.8）、札幌以外の地域 34.3（前回調査 33.0）となっており、札幌市に比べて札幌市以外の地域のマイナス幅が大きく、いずれも業況は悪化している。

来期の業況見通しでは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成18年4月～6月期の水準と比較した来期の見通し）では 22.5と、マイナス幅が縮小する見通しとな

っている。

今期の経営上の問題点として各企業が1位に挙げているのは、景気の低迷による「需要の停滞」が全業種で高いウエイトを占めているが、製造業では「製品(加工)単価の低下・上昇難」(19.6%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(19.7%)、卸売業では「仕入単価の上昇」(15.1%)、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」(22.7%)、サービス業では「大企業の進出による競争の激化」(13.6%)などの問題点が浮上している。

設備投資については、景気の低迷による先行き不透明感などから、依然、慎重な動きが続いている。(今期設備投資を行った企業は全業種平均で13.2%)

業界動向調査における企業の声では、製造業からは依然「原油価格高騰の影響に伴う原材料価格の上昇」「製品価格の低下」を訴える企業が多い。また、建設業からは「民間工事・公共工事の減少」「暖冬の影響による除雪作業の減少」から売上の低下を訴える声が寄せられている。

卸売業からは「暖冬少雪による冬物商品の売上不振」「仕入単価の上昇」などによる採算悪化の声、また、小売業では「大型店の影響」等による購買力の流出や、「個人消費の低迷」などによる売上の減少、「暖冬により冬物商品の売上減少」を訴える声が寄せられている。サービス業からは、「暖冬の影響による利用客の減少」売上・採算の悪化や「消費低迷」による売上不振などを訴える声が出ている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 29.1(来期見通し 18.9)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成18年10月~12月期)時点からの推移では、前回 25.4 今回 29.1と3.7ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「原材料価格の上昇」「製品価格の低下」による採算・業況悪化を訴える声がある一方、鉄鋼関連については高操業が続き好調が持続しているという声も寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・原材料の大幅な価格上昇と原油価格の高値推移により、採算、業況ともに悪化した。(食料品)
- ・売上高は増加したものの、原材料単価上昇で、採算、業況ともに悪化した。(プラスチック)
- ・前年同月に対し売上は微増だが、石油の高騰により仕入れ値は1割~2割増えているが、価格に転嫁できないため収益は減少した。(印刷)
- ・高操業が続き好調に推移。従業員の高齢化、熟練技術者の確保難が課題。(鉄鋼業)

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 39.6（来期見通し 29.0）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成18年10月～12月期）時点からの推移では、前回 27.8 今回 39.6と11.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、依然「民間工事・公共工事の減少」や「暖冬による除雪作業の減少」に伴う売上の低下などの声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・受注の減少により完成工事（請負工事）額、採算、業況いずれも悪化した。（一般土木工事）
- ・公共工事の落ち込み、一般住宅の不調等で最悪の状況が続いている。（一般工事）
- ・仕入単価の高止まり、受注競争の激化により収益は悪化傾向にある。この状況が続けば資金繰りにも影響が及ぶ可能性がある。（一般工事）
- ・今までにない暖冬少雪の為、除排雪作業が減少し売上が低下した。（建設）

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 19.5（来期見通 23.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成18年10月～12月期）時点からの推移では、前回 27.4 今回 19.5と7.9ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「暖冬少雪による冬物商品の不振」「仕入単価の上昇」による採算の悪化などを訴える声が出ている。

〔主なコメント〕

- ・暖冬少雪で衣料、靴・履物など冬物商品が低調。（卸売）
- ・異常気象による水温上昇等で、水産物の生態に変化が見られ、例年よりも漁獲が少なく、また、輸入量の減少から仕入単価が上昇、採算、業況ともに悪化した。（水産物）
- ・売上・収益ともに前年同月に比べ下降している。雪融けが早く進んだことにより農業資材の動きは例年より早い。石油関連の小売・卸売も営んでいるが、暖冬により灯油・軽油が売れなかった。（農業資材）

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 28.1（来期見通 17.1）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成18年10月～12月期）時点からの推移では、前回 34.1 今回 28.1と6.0ポイントマイナス幅が改善した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出のほか、「個人消費の低迷」などによる売上の減少を訴える声や、暖冬による冬物商品の売上不振を訴える声が寄せられている。

〔主なコメント〕

- ・中心商店街の核店舗を含む各個店とも、前年比で売上が減少している。（商店街）
- ・24時間営業のスーパーの影響により、売上高は減少した。（食料品）

- ・個人消費の停滞状況は変わらず、競合各社共に販売価格の低下で採算が悪化している。（小売）
- ・暖冬により灯油価格などに及ぼす影響は落ち着いている。しかし梱包資材等への影響は避けられない。（小売）

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 43.0（来期見通 23.9）]

業況D・I値（前年同期比）の前回の調査（平成18年10月～12月期）時点からの推移では、前回 37.5 今回 43.0と5.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは「暖冬の影響」による利用客の減少、売上・採算の悪化や「消費低迷」による売上不振などを訴えている。

〔主なコメント〕

- ・暖冬による利用客の減少と観光客の行動の変化で、売上高は減少、採算は悪化した。（道路旅客運送）
- ・観光客の著しい減少により、売上高は減少、採算、業況ともに悪化した。（土産品）
- ・暖冬の影響で損保関係の代車需要が約5割落ち込み、売上・採算・業況ともに悪化した。（レンタカー）
- ・団体客（スキー客等）の減少で、売上高も減少した。（ホテル）
- ・食堂・レストラン等も昨年と比較して売上高が減少している。（食堂・レストラン）

道内各商工会議所の相談窓口からみた地域の特徴的事例

道内各商工会議所の相談窓口（中小企業相談所）からみた状況については、依然、景気の低迷による売上の減少、倒産、廃業に関する相談案件も多いが、一部では創業に関する相談や設備資金に関する案件も徐々に増えてきている。

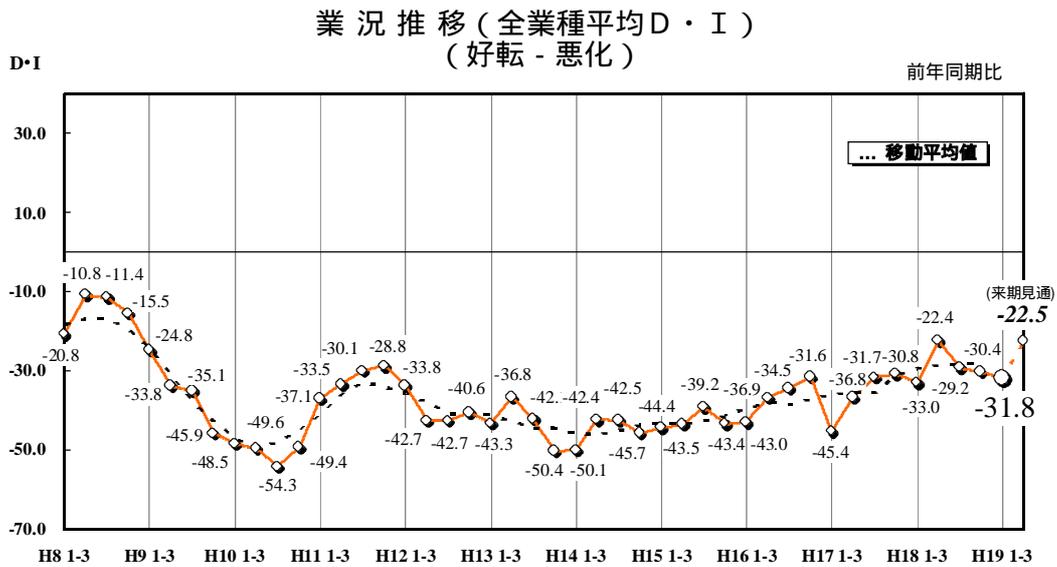
金融斡旋状況では、小規模事業者向けの経営改善資金（マル経資金）は、年度累計では前年同期比で減少している地域が多い。民間金融機関などの金融商品の利用等、需要が分散しているとの声が聞かれる。また、3月単月で見ると、暖冬の影響が建設関連業種での申込みが多いという声も出ている。

一方、道の制度資金は、年度累計では前年同期比で増加している地域については、セーフティネット貸付、経済対策特別資金の利用が多く見られる。

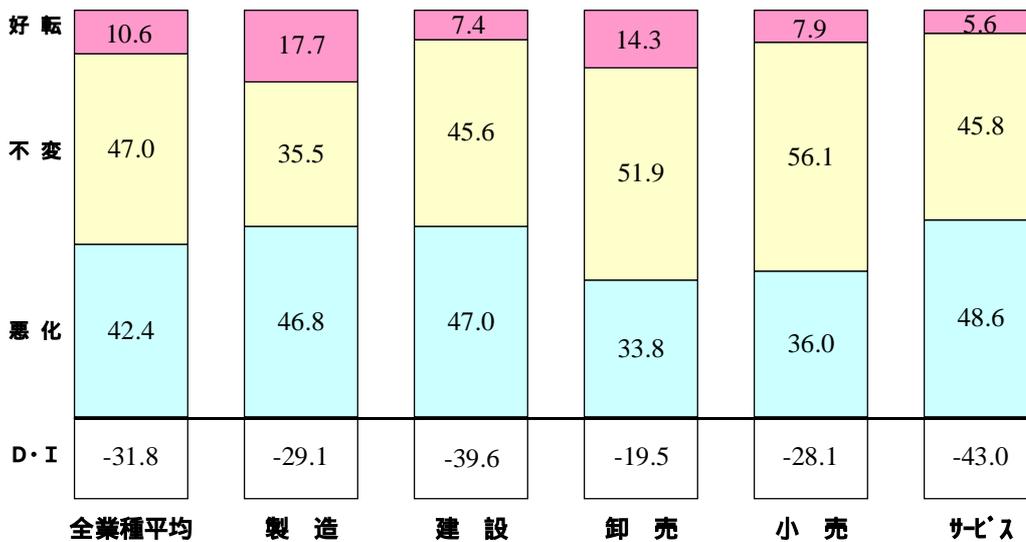
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した今期の業況）



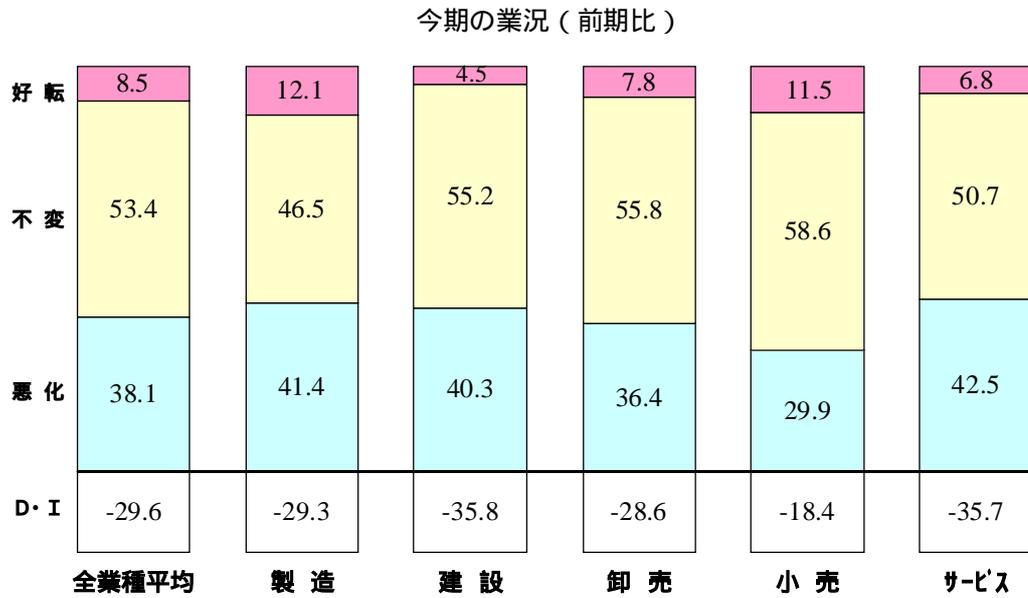
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 31.8〔前回調査時（平成18年10～12月期 30.4）1.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.4 29.1〕、建設〔前回 27.8 39.6〕
卸売〔前回 27.4 19.5〕、小売〔前回 34.1 28.1〕
サービス〔前回 37.5 43.0〕

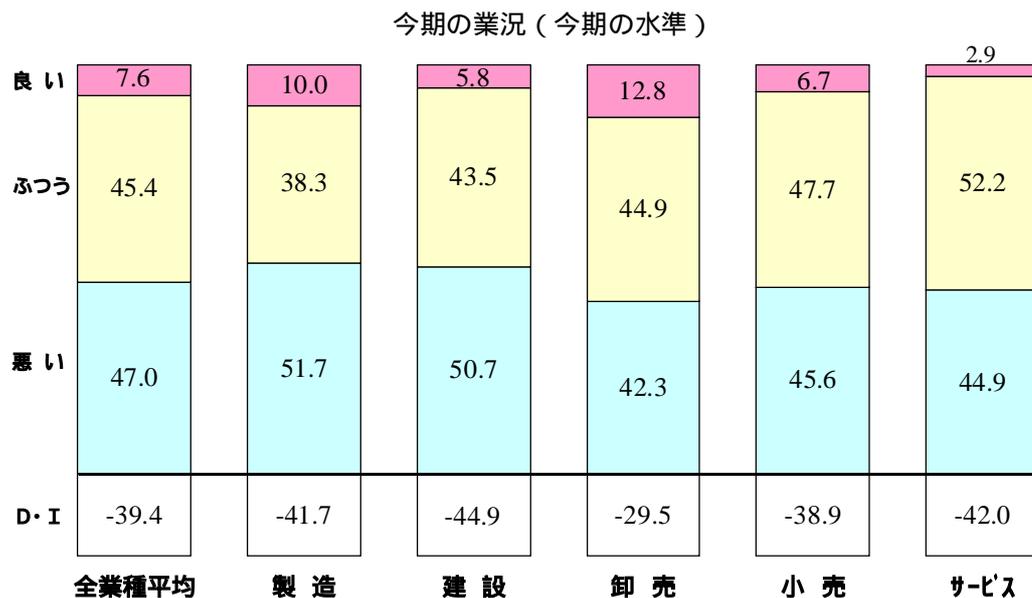
【前期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 29.6〔前回調査時（平成18年10～12月期 20.6）より9.0ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 10.5 29.3〕、建設〔前回 22.2 35.8〕
卸売〔前回 7.3 28.6〕、小売〔前回 26.1 18.4〕
サービス〔前回 36.9 35.7〕

【今期の水準】

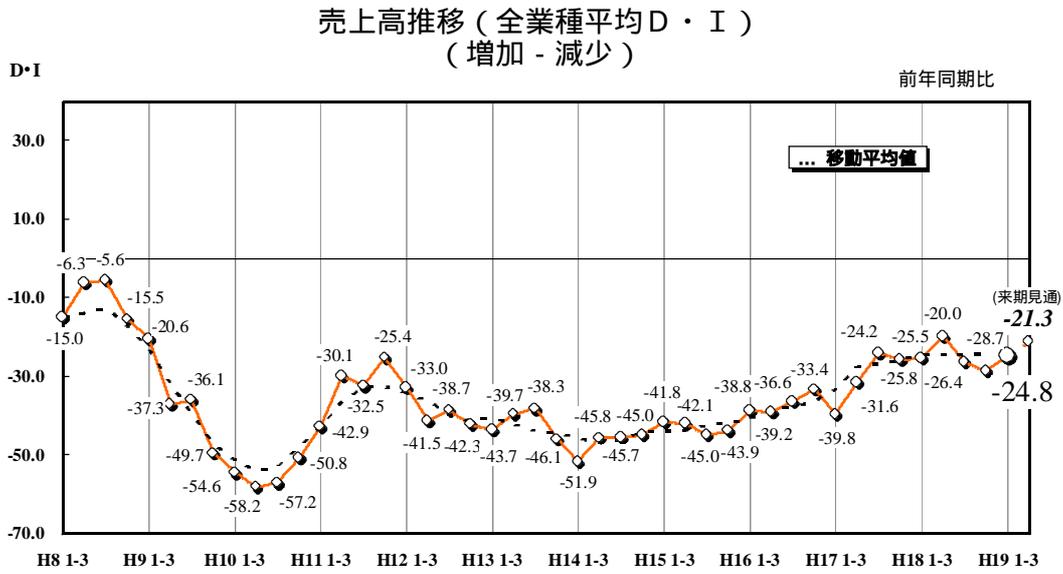


全業種平均でD・I値 39.4〔前回調査時（平成18年10～12月期 35.9）より3.5ポイントマイナス幅が改善〕。

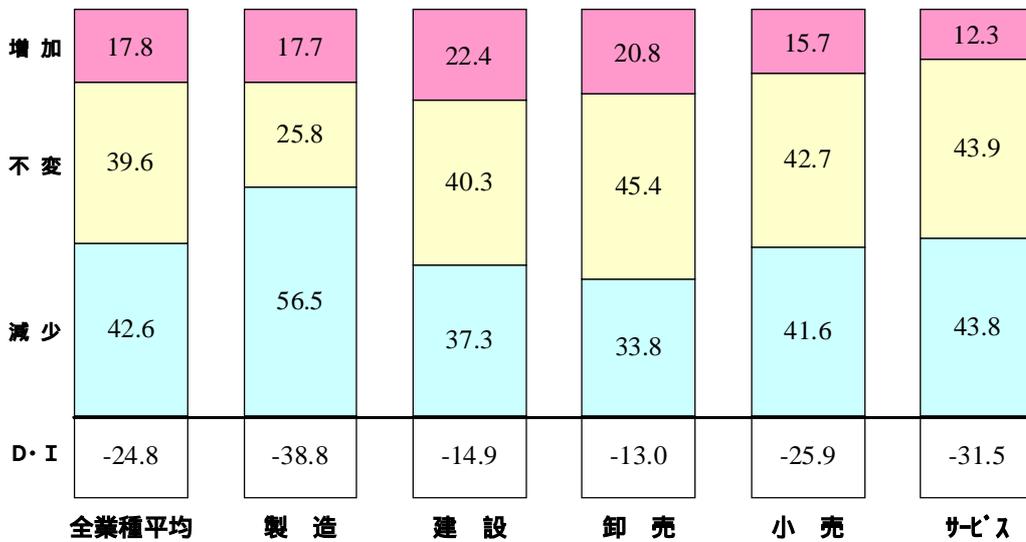
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 27.1 41.7〕、建設〔前回 29.6 44.9〕
卸売〔前回 38.1 29.5〕、小売〔前回 48.8 38.9〕
サービス〔前回 36.2 42.0〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）



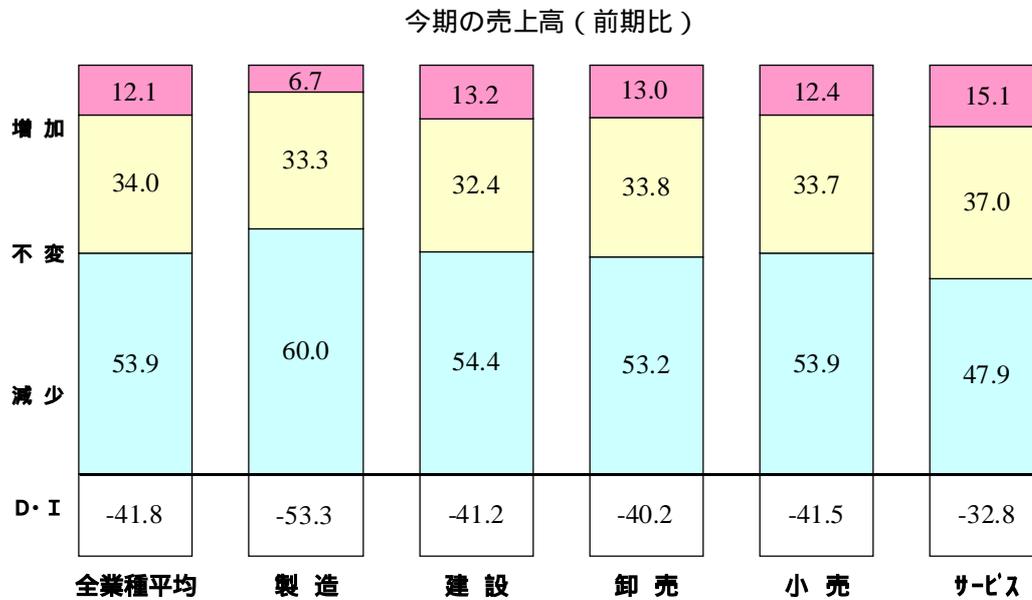
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 24.8〔前回調査時（平成18年10～12月期 28.7）より3.9ポイントマイナス幅が改善〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 21.6 38.8〕、建設〔前回 22.2 14.9〕
卸売〔前回 27.3 13.0〕、小売〔前回 33.0 25.9〕
サービス〔前回 29.7 31.5〕

【前期比】（平成18年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

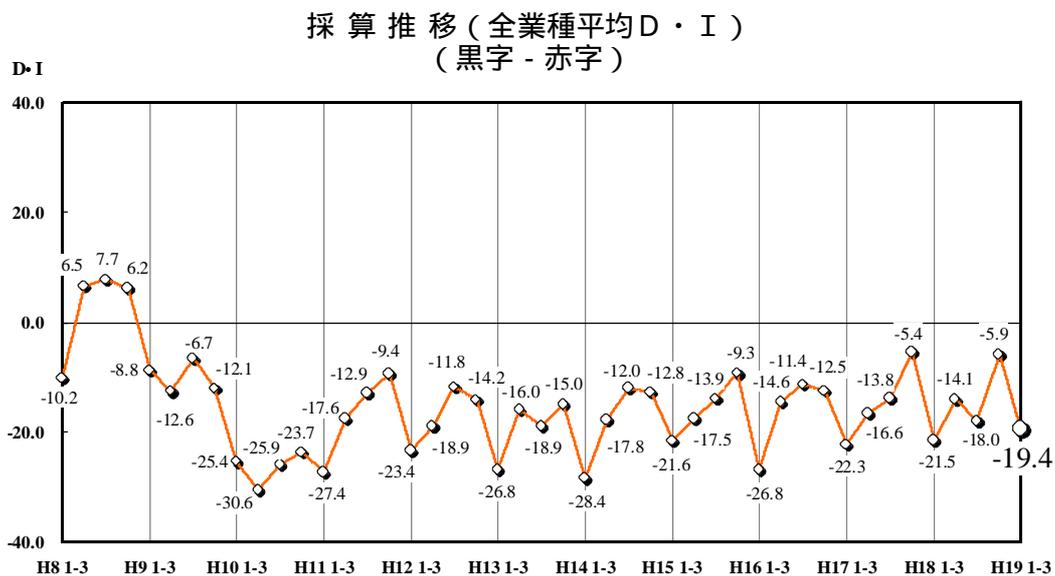


全業種平均でD・I値 41.8〔前回調査時（平成18年10～12月期 11.9）より29.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

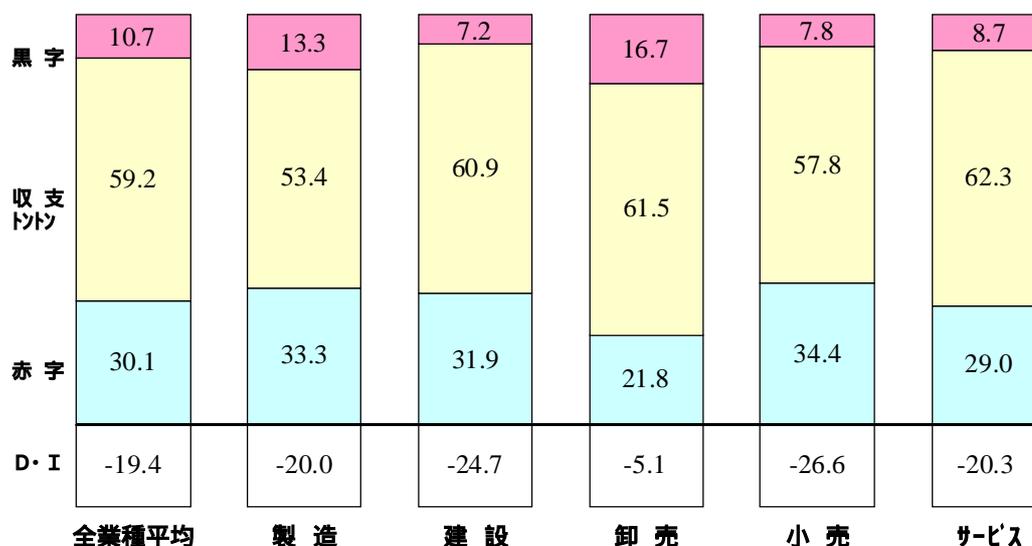
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 13.4 53.3〕、建設〔前回 11.3 41.2〕
卸売〔前回 13.2 40.2〕、小売〔前回 19.4 41.5〕
サービス〔前回 28.4 32.8〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

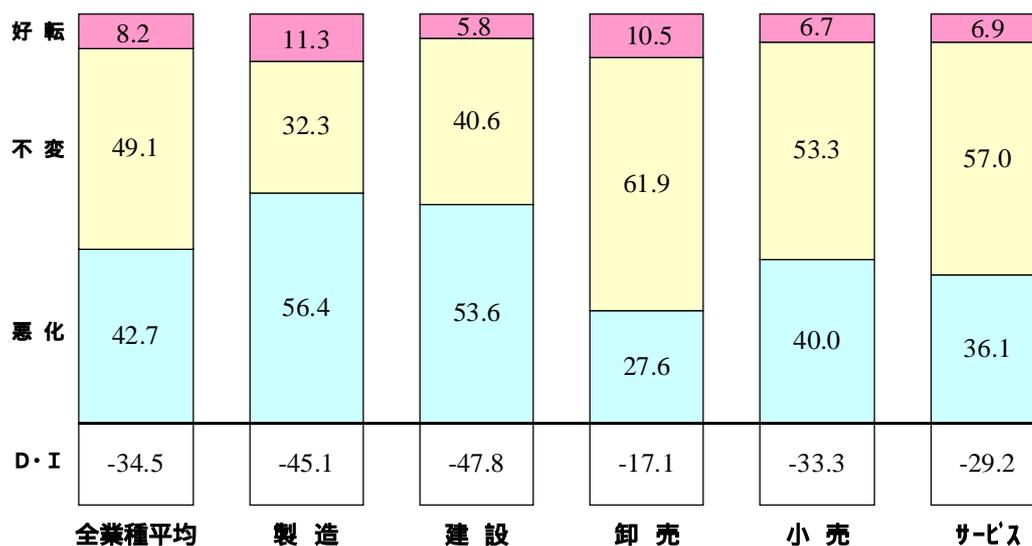


全業種平均でD・I値 19.4〔前回調査時（平成18年10～12月期 5.9）より13.5ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 3.3 20.0〕、建設〔前回 4.2 24.7〕
卸売〔前回 4.7 5.1〕、小売〔前回 13.2 26.6〕
サービス〔前回 21.5 20.3〕

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

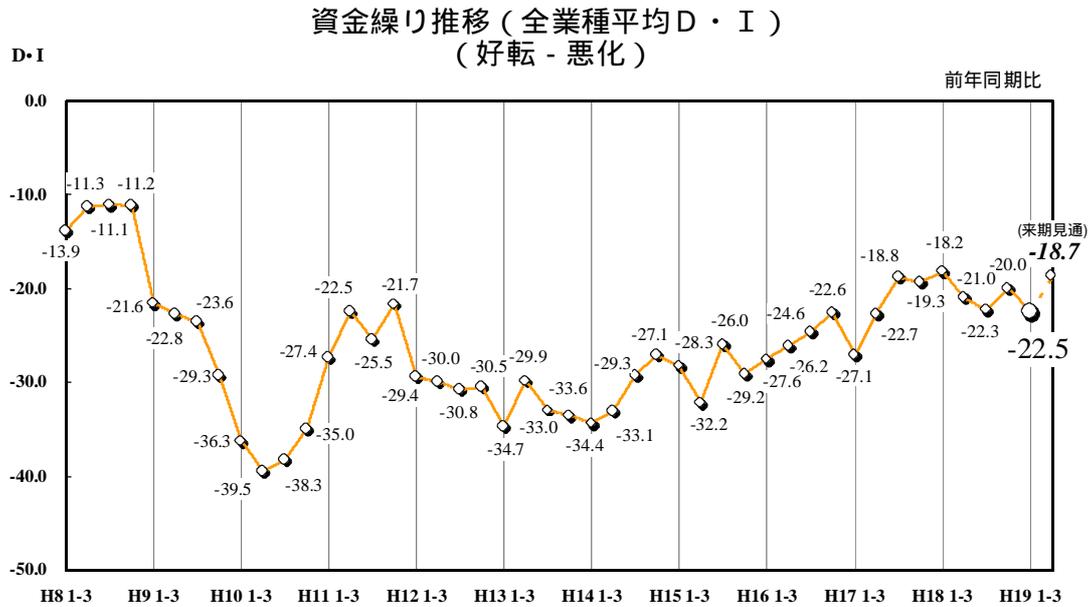


全業種平均でD・I値 34.5〔前回調査時（平成18年10～12月期 32.2）より2.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

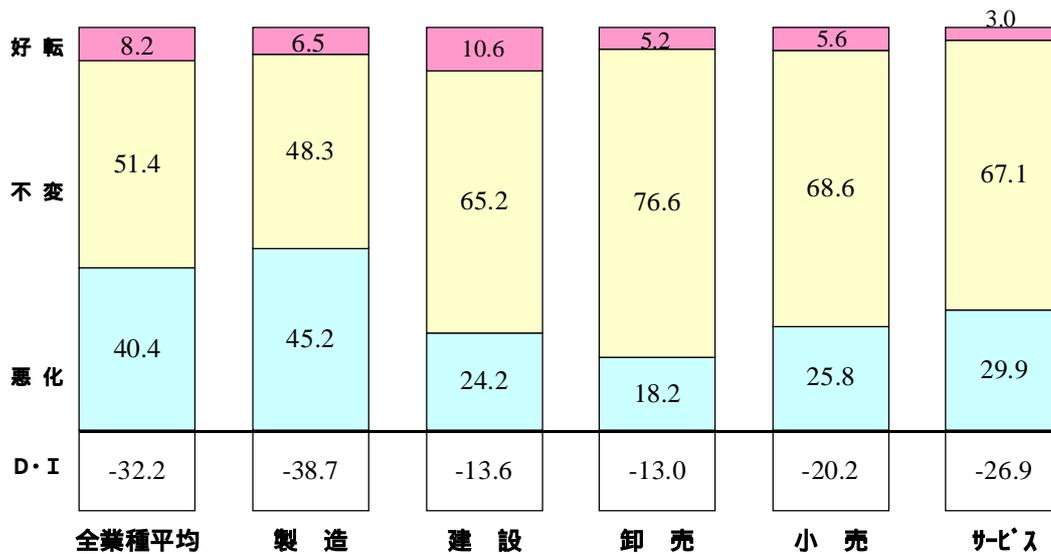
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.1 45.1〕、建設〔前回 33.8 47.8〕
卸売〔前回 25.0 17.1〕、小売〔前回 37.0 33.3〕
サービス〔前回 33.8 29.2〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成18年1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



今期の資金繰り（前年同期比）



全業種平均でD・I値 32.2〔前回調査時（平成18年10～12月期 32.2）より横這い〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 31.1 38.7〕、建設〔前回 33.8 13.6〕

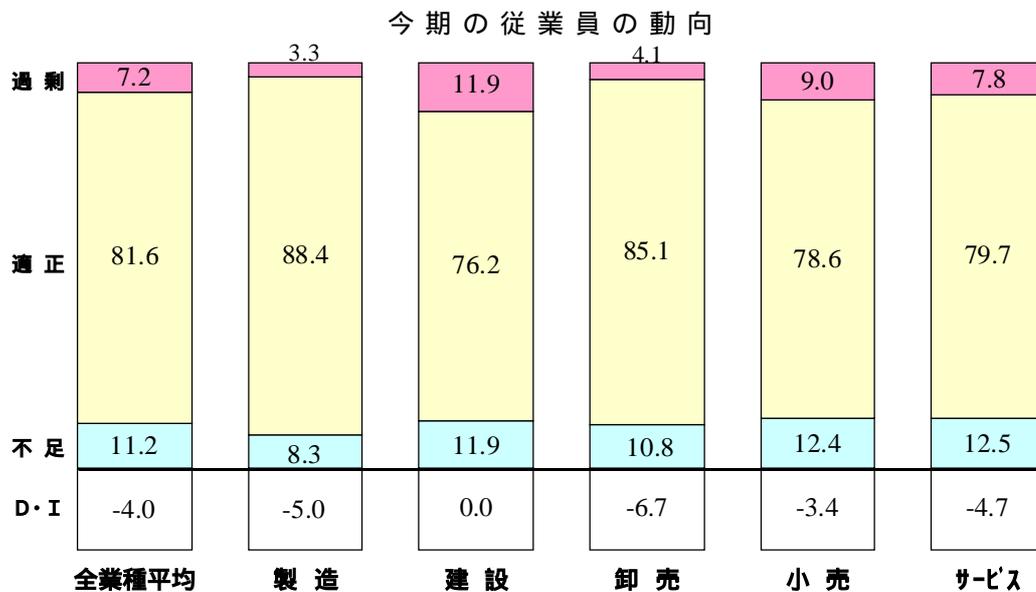
卸売〔前回 25.0 13.0〕、小売〔前回 37.0 20.2〕

サービス〔前回 33.8 26.9〕

(5) 今期の経営上の問題点 (1位に挙げられた項目)

製造業	「需要の停滞」	(32.0%) [前回 35.1%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(19.6%) [前回 11.1%]
	「原材料価格の上昇」	(16.1%) [前回 29.6%]
建設業	「官公需要の停滞」	(24.7%) [前回 23.8%]
	「民間需要の停滞」	(23.0%) [前回 15.9%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(19.7%) [前回 33.3%]
卸売業	「需要の停滞」	(35.6%) [前回 43.6%]
	「仕入単価の上昇」	(15.1%) [前回 14.6%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.0%) [前回 9.2%]
小売業	「大型・中型店進出競争の激化」	(22.7%) [前回 27.7%]
	「需要の停滞」	(18.9%) [前回 19.8%]
	「購買力の他地域への流出」	(12.7%) [前回 15.1%]
	「同業店の進出」	(12.7%) [前回 14.0%]
サービス業	「需要の停滞」	(33.4%) [前回 29.1%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(13.6%) [前回 10.8%]
	「新規参入業者の増加」	(10.6%) [前回 9.2%]

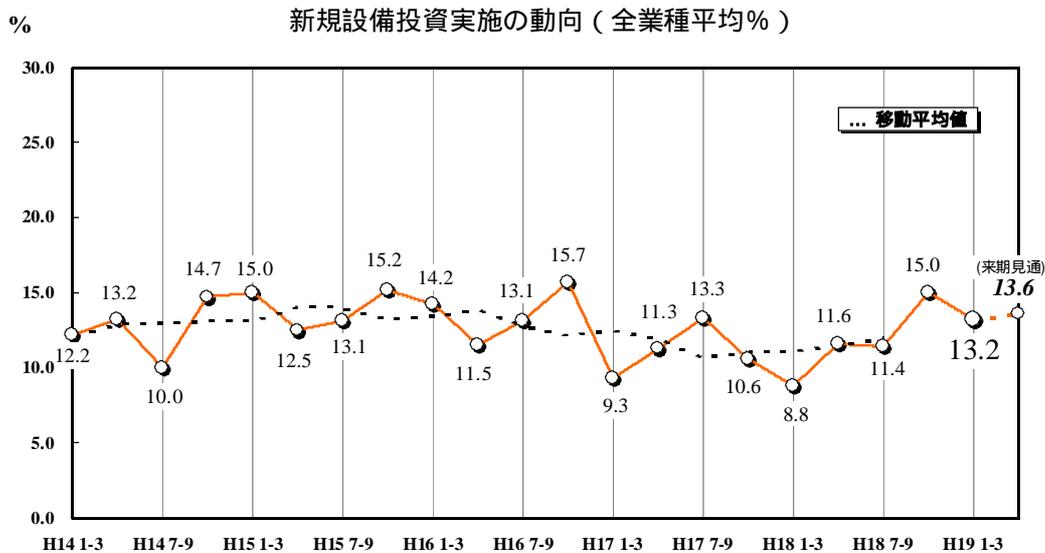
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値 4.0〔前回調査時(平成18年10~12月期 2.7)より1.3ポイントマイナス幅が拡大〕。また、「適正」とする企業が81.6%と大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 0.0 5.0〕(適正88.4%)
 建設〔前回 7.4 0.0〕(適正76.2%)
 卸売〔前回 3.6 6.7〕(適正85.1%)
 小売〔前回 2.3 3.4〕(適正78.6%)
 サービス〔前回 4.6 4.7〕(適正79.7%)

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

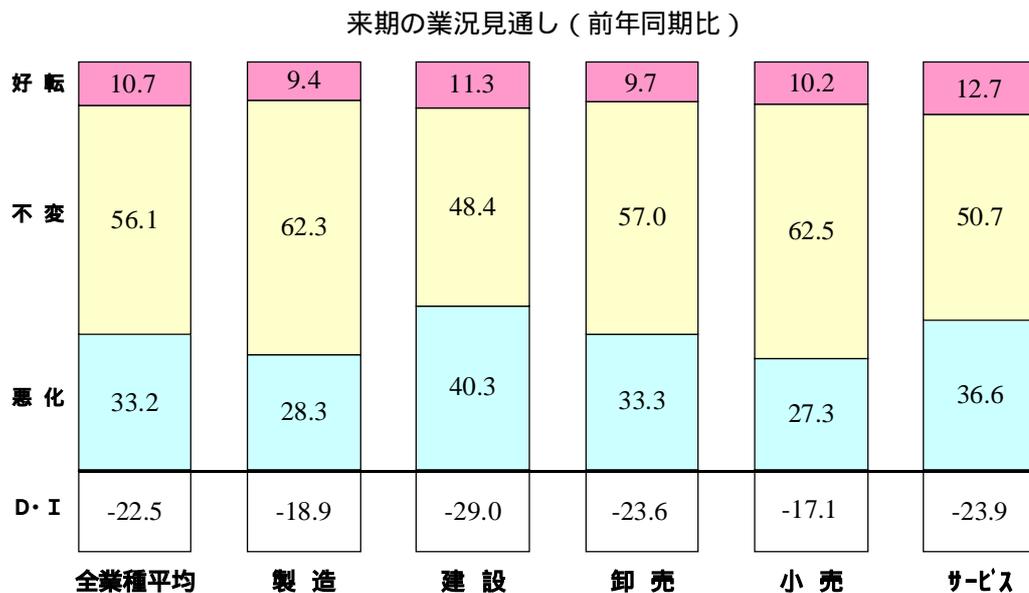
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	16.1	10.3	14.1	7.9	17.8	13.2
土地	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
工場建物、建物、店舗	30.0	28.6	0.0	14.3	30.8	20.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	40.0	14.3	0.0	14.3	15.4	16.8
車両運搬具	60.0	14.3	27.3	42.9	15.4	32.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	10.0	14.3	27.3	28.6	38.5	23.7
O A 機器	40.0	42.9	54.5	42.9	15.4	39.1
厚生施設	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	1.8
その他	10.0	0.0	0.0	0.0	23.1	6.6
実施していない	83.9	89.7	85.9	92.1	82.2	86.8

新たに設備投資を実施した企業は平均で**13.2%**〔前回調査時（平成18年10～12月期15.0%）より1.8%減少〕、業種別では製造〔前回27.9% 16.1%〕、建設〔前回11.1% 10.3%〕、卸売〔前回11.9% 14.1%〕、小売〔前回6.5% 7.9%〕、サービス〔前回17.6% 17.8%〕と、製造、建設で前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

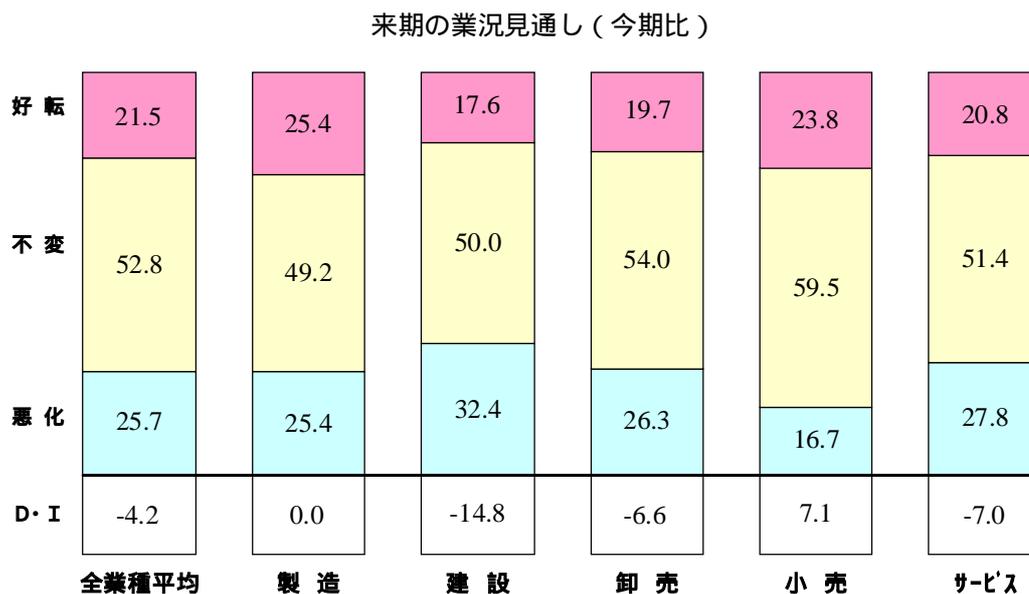
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成18年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 22.5〔今期の業況（前年同期比 31.8）より9.3ポイントマイナス幅が改善する見通し〕。

【今期比】（平成19年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

(単位%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	17.7	4.4	16.0	12.6	17.4	13.6
土地	9.1	0.0	8.3	0.0	8.3	5.1
工場建物、建物、店舗	18.2	66.7	25.0	18.2	16.7	29.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	27.3	0.0	25.0	36.4	33.3	24.4
車両運搬具	27.3	0.0	0.0	54.5	16.7	19.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	9.1	0.0	8.3	9.1	25.0	10.3
OA機器	36.4	33.3	41.7	27.3	16.7	31.1
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	9.1	0.0	25.0	0.0	16.7	10.2
実施しない	82.3	95.6	84.0	87.4	82.6	86.4

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**13.6%**となっており、今期(13.2%)を上回る見通し。

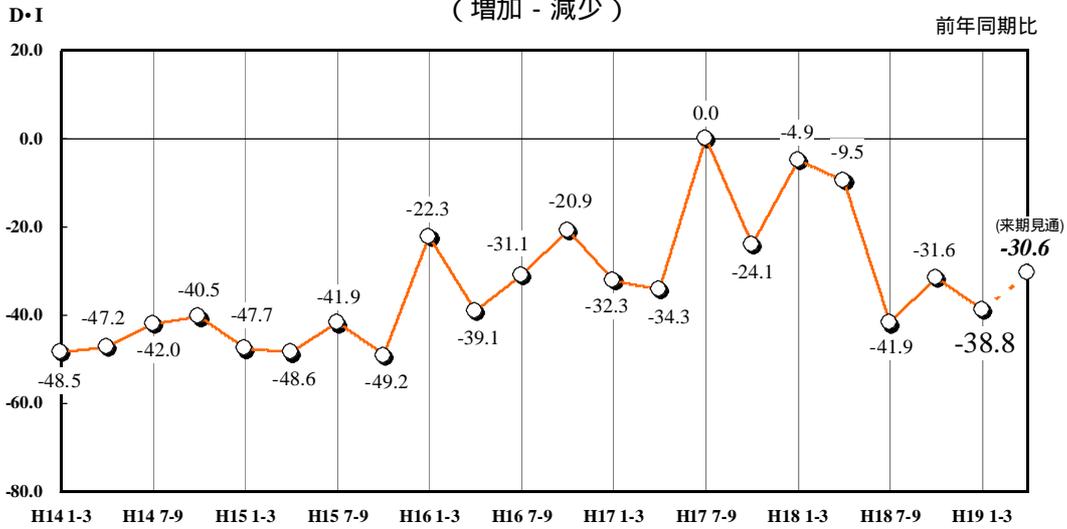
業種別では、製造〔今期16.1% 17.7%〕、建設〔今期10.3% 4.4%〕、卸売〔今期14.1% 16.0%〕、小売〔今期7.9% 12.6%〕、サービス〔今期17.8% 17.4%〕となっている。

業種別の動向

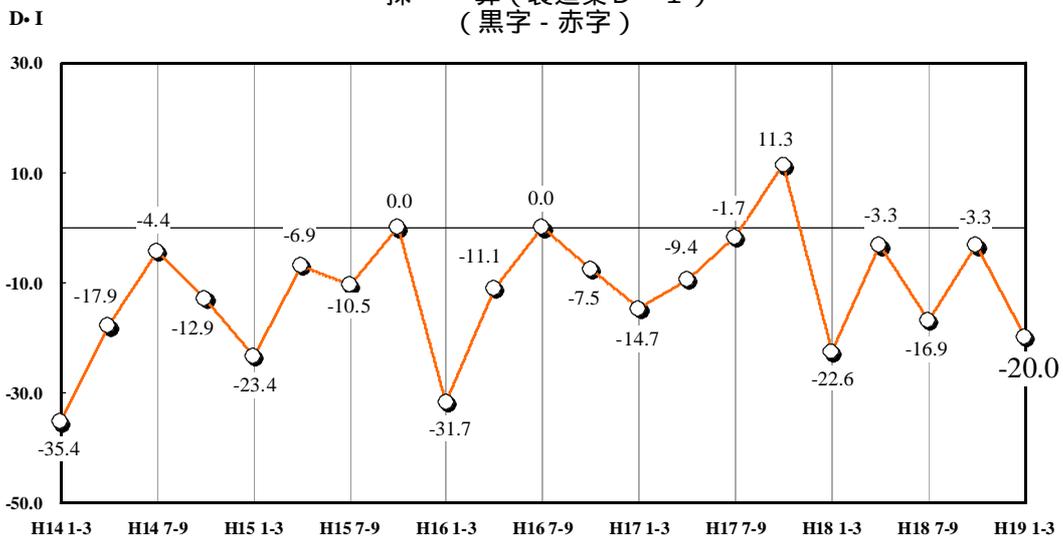
(1) 製造業



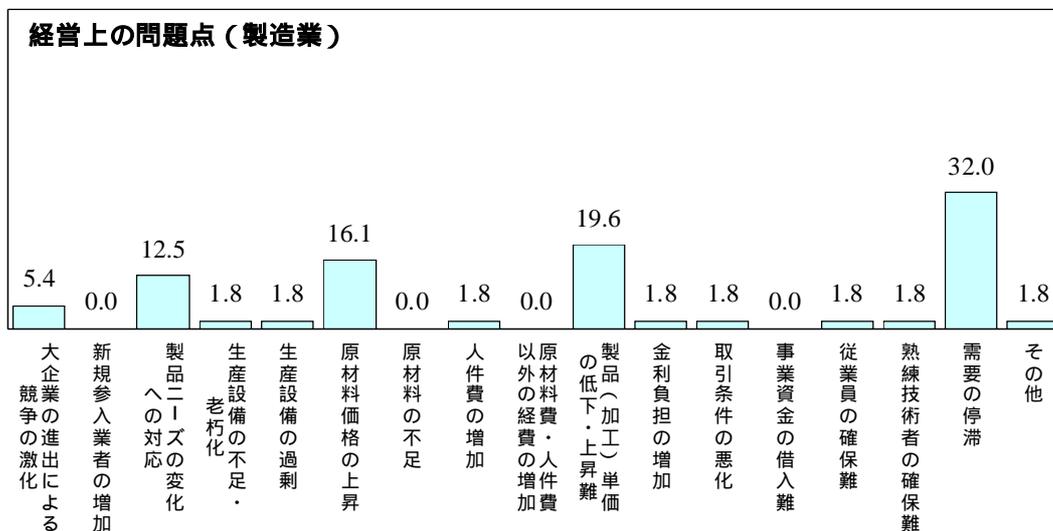
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



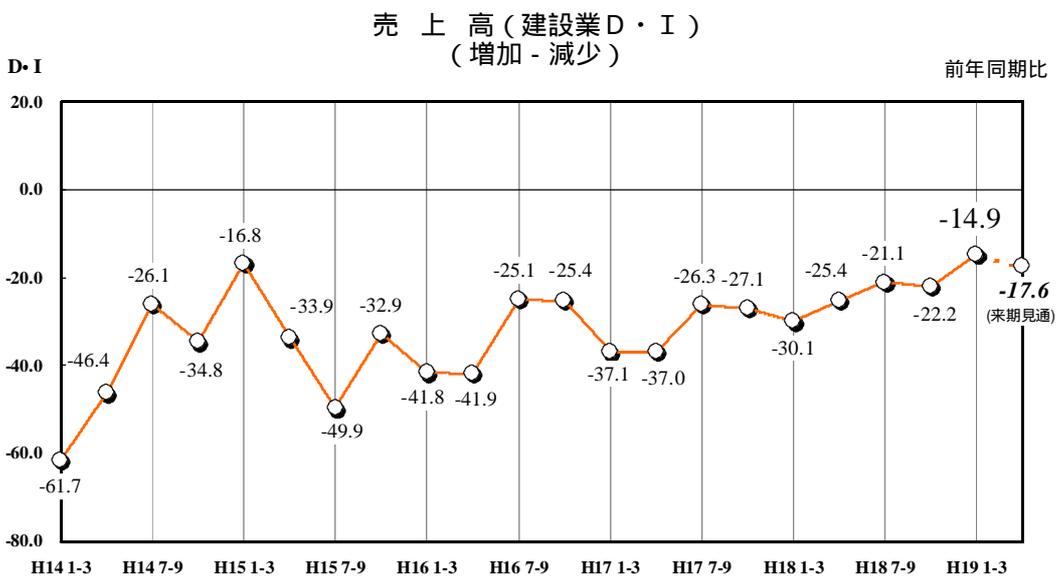
経営上の問題点



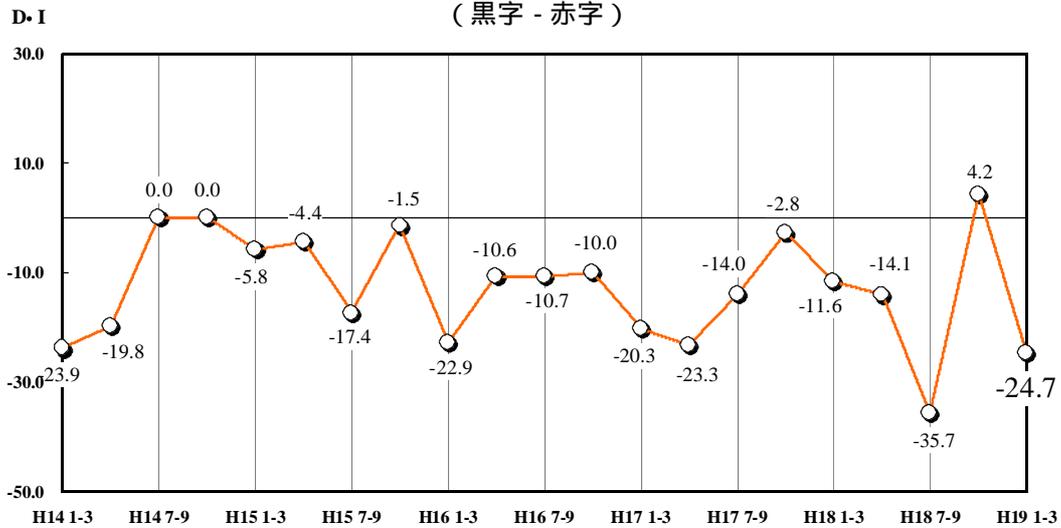
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	38.7	39.0	33.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	1.7	6.7 (今期比)
短期 "	-----	1.7	3.4 (今期比)
設 備 操 業 率	25.4	-----	22.0 (前年同期比)

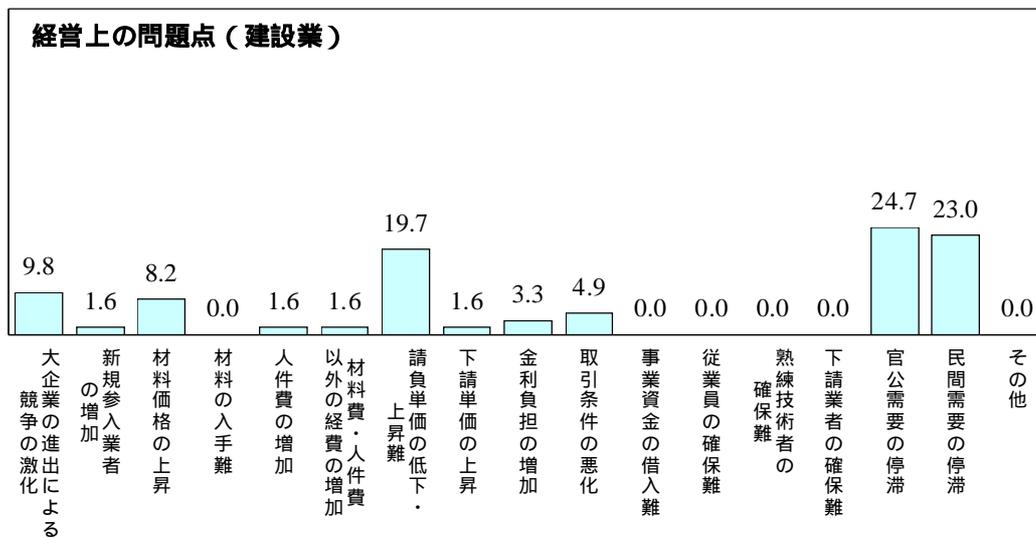
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



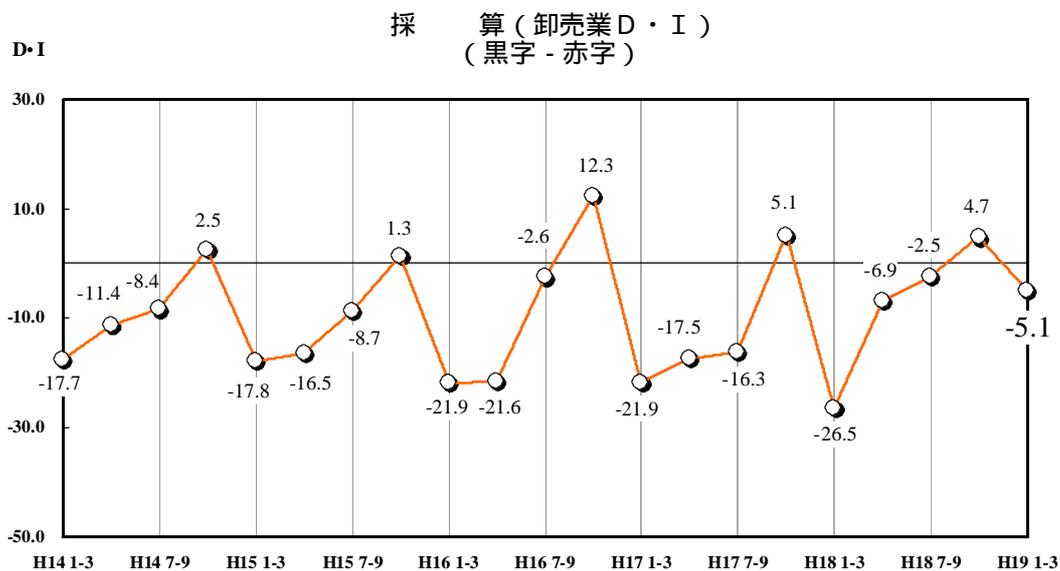
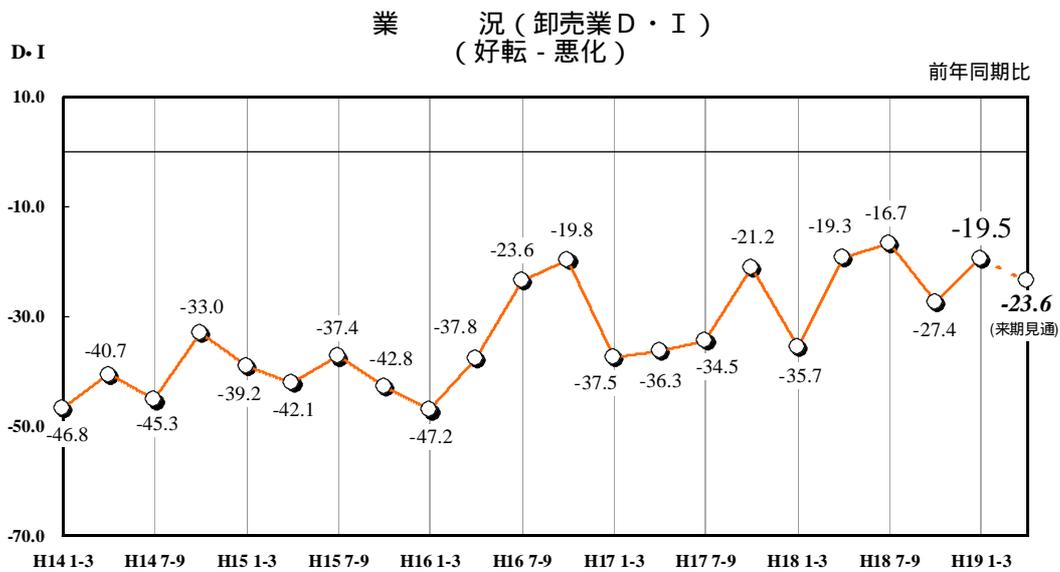
経営上の問題点



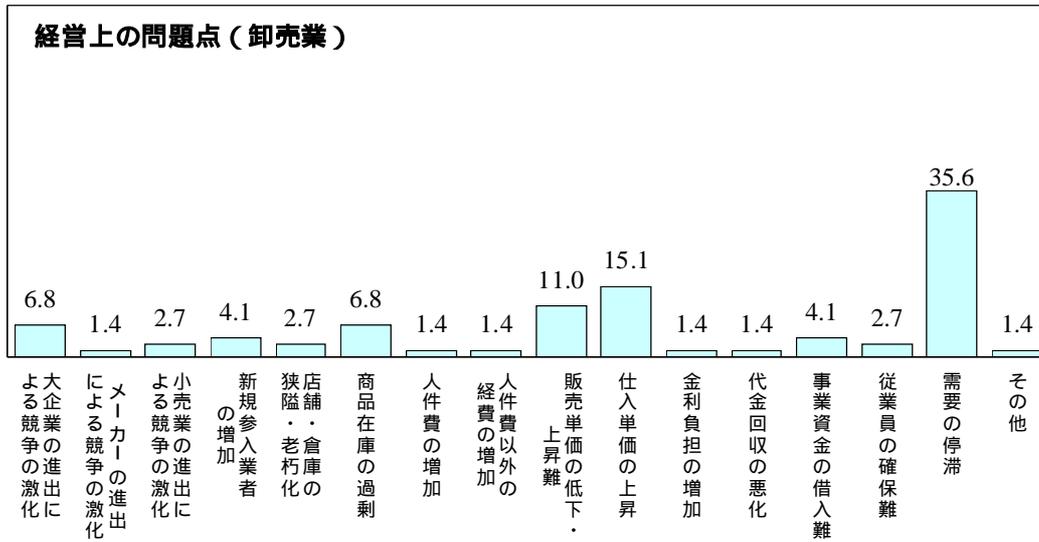
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	13.6	23.9	19.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.7	14.5 (今期比)
短期 "	-----	8.5	8.3 (今期比)
受注(新規契約工事)額	21.7	-----	24.6 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



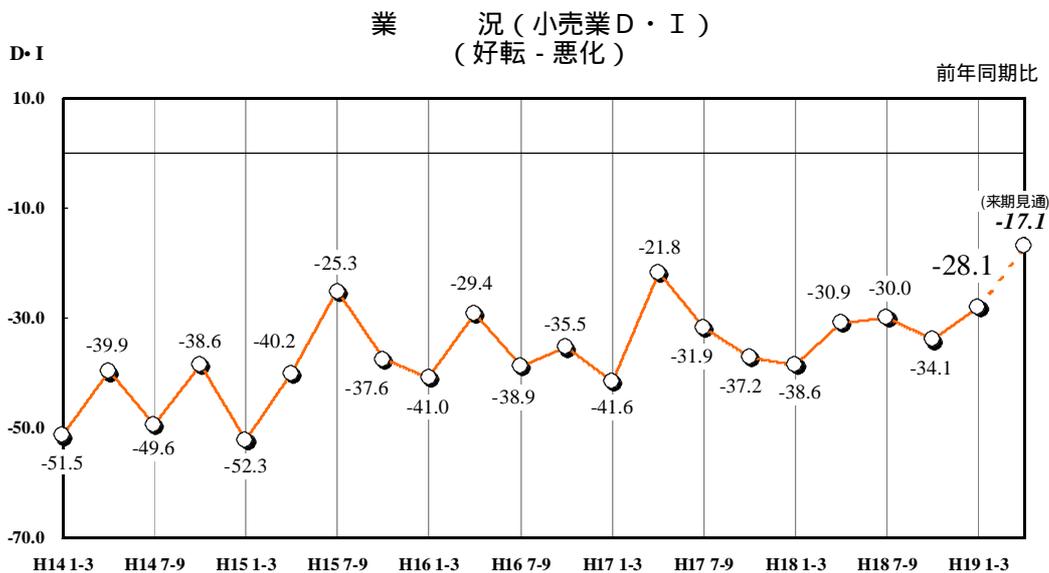
経営上の問題点

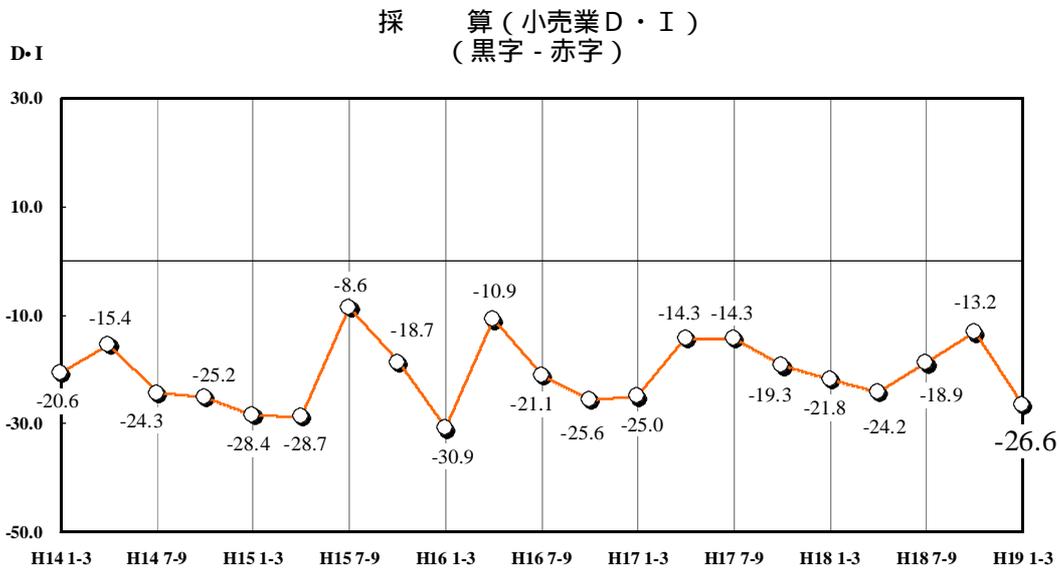


その他（D・I値）

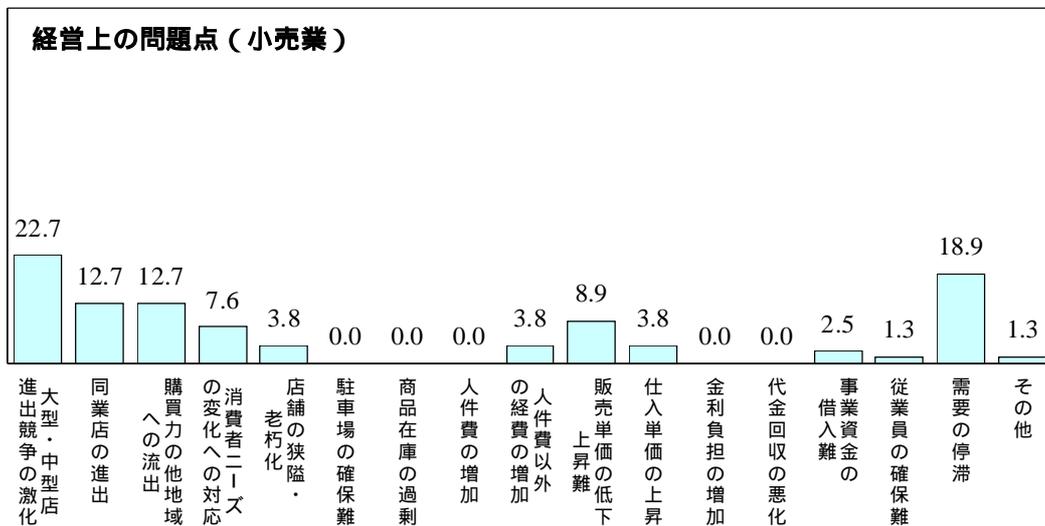
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	13.0	9.1	19.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	4.1	1.4 (今期比)
短期 "	-----	1.4	1.3 (今期比)
商品在庫数量	11.7	-----	13.0 (前年同期比)

(4) 小 売 業





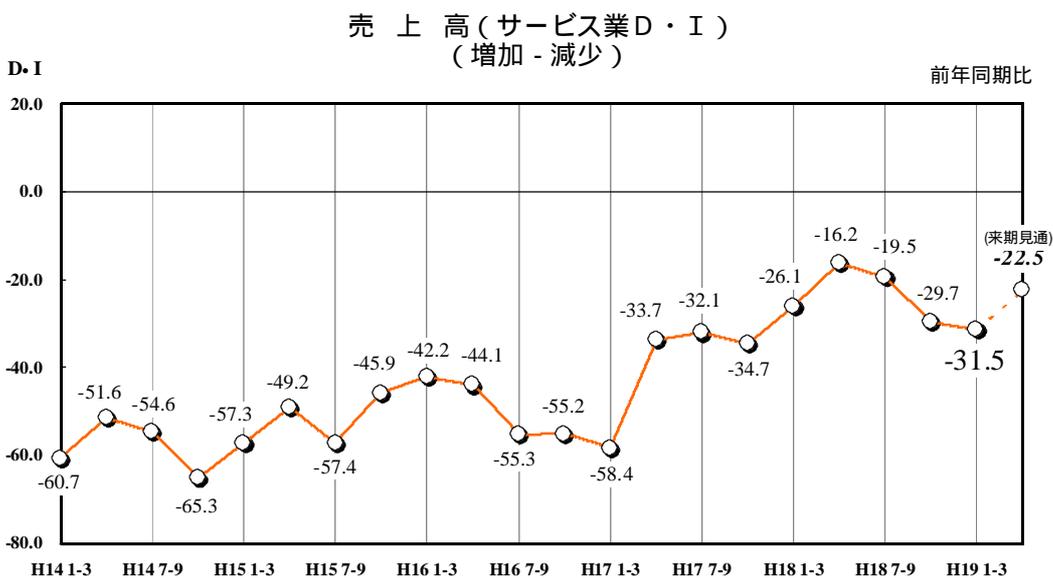
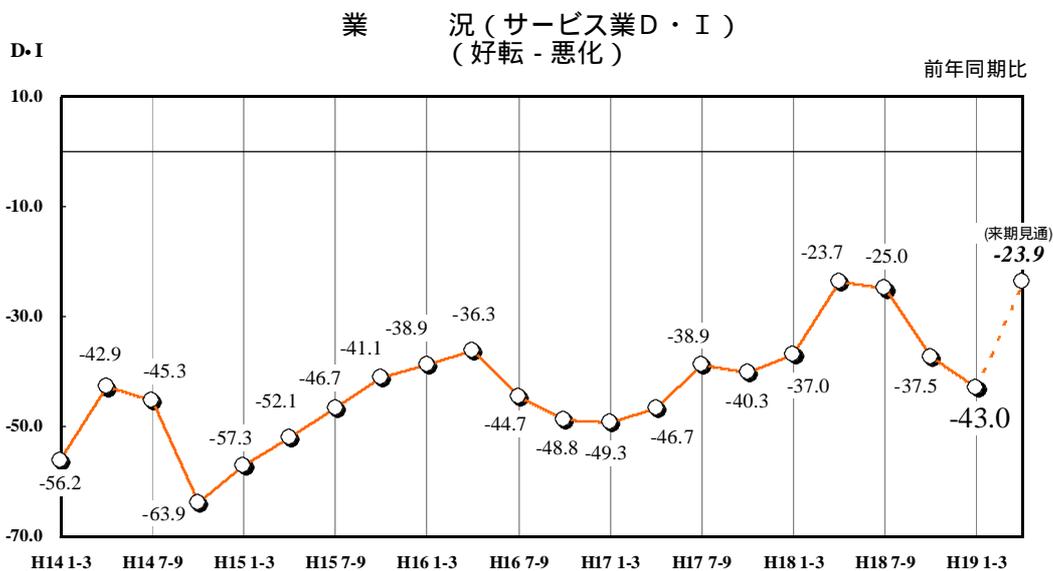
経営上の問題点

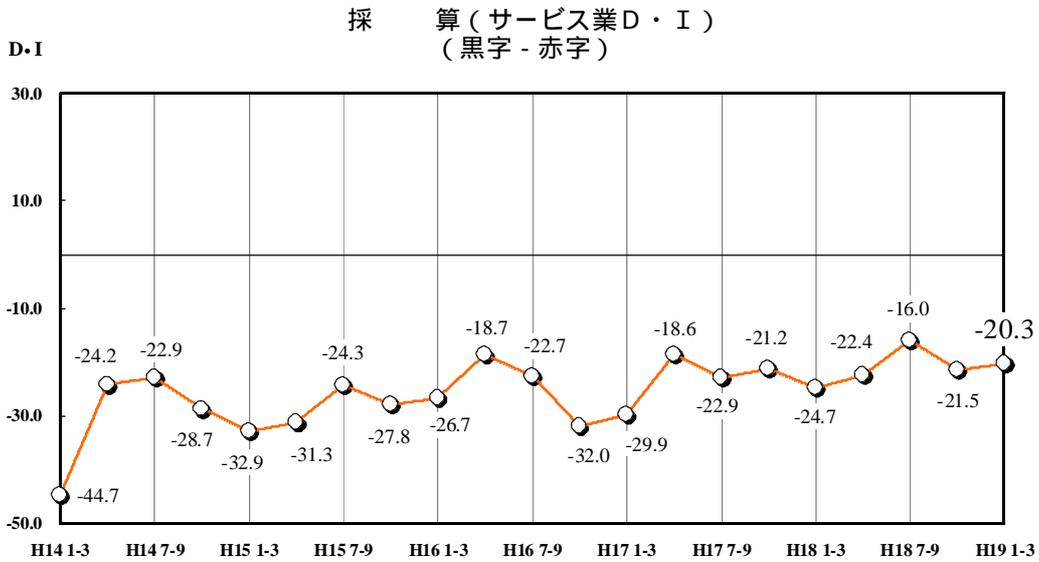


その他 (D・I値)

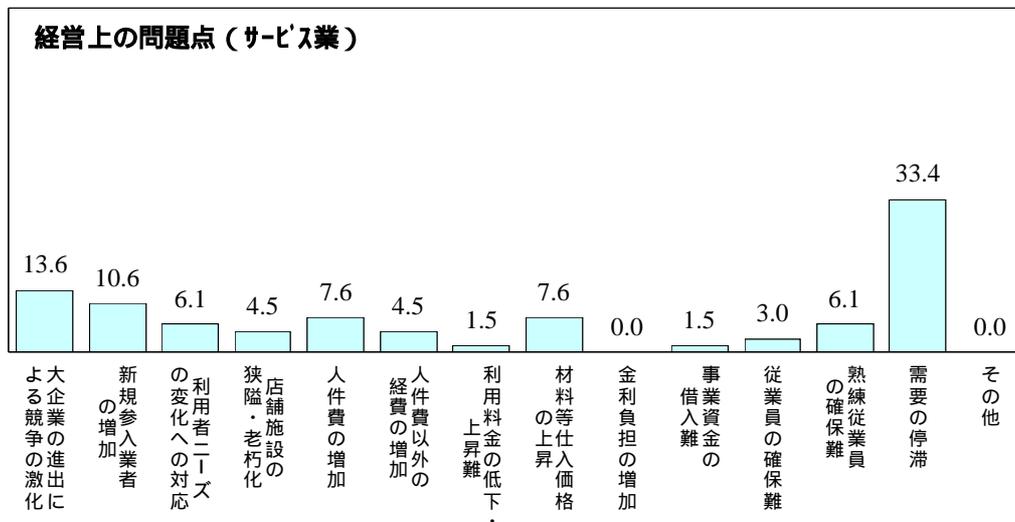
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	20.2	21.6	6.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.7	7.5 (今期比)
短期 "	-----	0.0	4.3 (今期比)
商品在庫数量	16.9	-----	17.8 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	26.9	23.9	13.6 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	17.1	9.6 (今期比)
短期 "	-----	3.4	1.7 (今期比)
利 用 客 数	33.3	39.4	25.3 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成19年 1月～3月)の水準			D・I
	↗	↘	↔	
業 況(自 社)	10.0	38.3	51.7	-41.7
生産に対する原材料在庫	3.5	89.5	7.0	-3.5
売上に対する製品在庫	5.7	90.5	3.8	1.9
採 算(経常利益)	13.3	53.4	33.3	-20.0
引 合	11.9	45.7	42.4	-30.5
生 産 設 備	11.7	83.3	5.0	6.7
従 業 員(含臨時・パート)	3.3	88.4	8.3	-5.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				前年同期(平成18年 4月～6月)と比べた 来 期(平成19年 4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I	↗	↘	↔	D・I
A 売 上(加 工) 額	17.7	25.8	56.5	-38.8	6.7	33.3	60.0	-53.3	12.9	43.6	43.5	-30.6
B 売 上(加 工) 単 価	11.5	50.8	37.7	-26.2	3.3	68.4	28.3	-25.0	11.3	62.9	25.8	-14.5
C 売 上(加 工) 数 量	12.9	32.3	54.8	-41.9	8.3	36.7	55.0	-46.7	8.2	50.8	41.0	-32.8
D 資 金 繰 り	6.5	48.3	45.2	-38.7	5.1	50.8	44.1	-39.0	3.2	59.7	37.1	-33.9
E 輸 出 額	27.3	54.5	18.2	9.1					21.4	71.5	7.1	14.3
F 原 材 料 仕 入 単 価	60.6	36.1	3.3	57.3					55.8	42.6	1.6	54.2
G 原 材 料 在 庫 数 量	3.4	69.0	27.6	-24.2					6.9	70.7	22.4	-15.5
H 製 品 在 庫 数 量	7.1	66.1	26.8	-19.7					3.5	71.9	24.6	-21.1
I 採 算(経常利益)	11.3	32.3	56.4	-45.1					9.8	47.6	42.6	-32.8
J 従 業 員(含臨時・パート)	11.3	69.3	19.4	-8.1					6.5	79.0	14.5	-8.0
K 外 部 人 材(請負・派遣)	6.3	87.4	6.3	0.0					5.9	82.3	11.8	-5.9
L 設 備 採 業 率	15.3	44.0	40.7	-25.4					10.2	57.6	32.2	-22.0
M 引 合	16.7	43.3	40.0	-23.3								
N 受 注 残	3.4	58.7	37.9	-34.5								
	17.7	35.5	46.8	-29.1	12.1	46.5	41.4	-29.3	9.4	62.3	28.3	-18.9
O 業 況(自 社)	前年同期(平成18年 1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				今 期(平成19年 1月～3月)と比べた 来 期(平成19年 4月～6月)の見通し			
P 受 取 手 形 期 間					6.5	93.5	0.0	6.5	0.0	49.2	25.4	0.0
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					5.1	88.1	6.8	-1.7	3.3	86.7	10.0	-6.7
R 短 期 資 金 借 入 難 度(含手形割引)					5.2	87.9	6.9	-1.7	3.4	89.8	6.8	-3.4
S 借 入 金 利					41.4	56.9	1.7	39.7	42.4	55.9	1.7	40.7

↗ : 増加 ↘ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今 期	16.1	10.0	30.0	40.0	60.0	10.0	40.0	0.0	10.0	83.9
来 期	17.7	9.1	18.2	27.3	27.3	9.1	36.4	0.0	9.1	82.3

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	5.4	10.7
新規参入業者の増加	0.0	1.8
製品ニーズの変化への対応	12.5	26.8
生産設備の不足・老朽化	1.8	14.3
生産設備の過剰	1.8	1.8
原材料価格の上昇	16.1	50.0
原材料の不足	0.0	3.6
人件費の増加	1.8	12.5
原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	16.1
製品(加工)単価の低下・上昇難	19.6	50.0
金利負担の増加	1.8	7.1
取引条件の悪化	1.8	16.1
事業資金の借入難	0.0	1.8
従業員確保の難	1.8	1.8
熟練技術者の確保難	1.8	7.1
需要の停滞	32.0	58.9
その他	1.8	1.8

2. 建設業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成19年1月～3月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業況(自社)	5.8	43.5	50.7	-44.9
採算(経常利益)	7.2	60.9	31.9	-24.7
引合	4.7	51.5	43.8	-39.1
従業員(含臨時・パート)	11.9	76.2	11.9	0.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成18年1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				前年同期(平成18年4月～6月)と比べた 来期(平成19年4月～6月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 完成工事(請負工事)額	22.4	40.3	37.3	-14.9	13.2	32.4	54.4	-41.2	11.8	58.8	29.4	-17.6
B 資金繰り	10.6	65.2	24.2	-13.6	1.5	73.1	25.4	-23.9	6.0	68.6	25.4	-19.4
C 受注(新規契約工事)額	17.4	43.5	39.1	-21.7					11.6	52.2	36.2	-24.6
D 材料仕入単価	51.5	48.5	0.0	51.5					45.6	54.4	0.0	45.6
E 採算(経常利益)	5.8	40.6	53.6	-47.8					5.8	47.8	46.4	-40.6
F 従業員(含臨時・パート)	9.0	71.6	19.4	-10.4					6.0	73.1	20.9	-14.9
G 外部人材(請負・派遣)	9.1	69.1	21.8	-12.7					9.1	69.1	21.8	-12.7
H 引合	9.7	51.6	38.7	-29.0								
I 契約残(未消化工事高)	11.1	47.6	41.3	-30.2								
	7.4	45.6	47.0	-39.6	4.5	55.2	40.3	-35.8	11.3	48.4	40.3	-29.0
J 業況(自社)	前年同期(平成18年1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				今期(平成19年1月～3月)と比べた 来期(平成19年4月～6月)の見通し			
K 受取手形期間					10.0	90.0	0.0	10.0	7.8	92.2	0.0	7.8
L 長期資金借入難度					3.3	78.7	18.0	-14.7	3.2	79.1	17.7	-14.5
M 短期資金借入難度(含手形割引)					5.1	81.3	13.6	-8.5	5.0	81.7	13.3	-8.3
N 借入金金利					36.7	60.0	3.3	33.4	39.3	60.7	0.0	39.3

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, H, I)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (D, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (B, E, J)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変 (K)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	10.3	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0	89.7
来期	4.4	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	95.6

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	9.8	16.4
新規参入業者の増加	1.6	14.8
材料単価の上昇	8.2	24.6
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	1.6	4.9
材料費・人件費以外の経費の増加	1.6	8.2
請負単価の低下・上昇難	19.7	59.0
下請単価の上昇	1.6	3.3
金利負担の増加	3.3	14.8
取引条件の悪化	4.9	21.3
事業資金の借入難	0.0	6.6
従業員の確保難	0.0	3.3
熟練技術者の確保難	0.0	8.2
下請業者の確保難	0.0	0.0
官公需要の停滞	24.7	47.5
民間需要の停滞	23.0	50.8
その他	0.0	0.0

4. 小 売 業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期 (平成19年 1月～3月) の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業 況 (自 社)	6.7	47.7	45.6	-38.9
売 上 対 する 原 材 料 在 庫	18.9	72.2	8.9	10.0
採 算 (経 常 利 益)	7.8	57.8	34.4	-26.6
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	9.0	78.6	12.4	-3.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				前年同期(平成18年 4月～6月)と比べた 来 期(平成19年 4月～6月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 売 上 額	15.7	42.7	41.6	-25.9	12.4	33.7	53.9	-41.5	17.8	51.1	31.1	-13.3
B 客 単 価	10.0	60.0	30.0	-20.0	10.2	58.0	31.8	-21.6	6.7	68.6	24.7	-18.0
C 客 数	7.8	54.4	37.8	-30.0	5.6	51.7	42.7	-37.1	11.1	60.0	28.9	-17.8
D 資 金 繰 り	5.6	68.6	25.8	-20.2	4.5	69.4	26.1	-21.6	6.7	79.8	13.5	-6.8
E 商 品 仕 入 単 価	13.3	72.3	14.4	-1.1					13.3	71.1	15.6	-2.3
F 商 品 仕 入 額	10.1	56.2	33.7	-23.6					11.1	58.9	30.0	-18.9
G 商 品 在 庫 数 量	5.6	71.9	22.5	-16.9					3.3	75.6	21.1	-17.8
H 採 算 (経 常 利 益)	6.7	53.3	40.0	-33.3					8.9	60.0	31.1	-22.2
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	2.4	78.3	19.3	-16.9					3.6	84.4	12.0	-8.4
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	2.1	91.6	6.3	-4.2					2.1	91.6	6.3	-4.2
K 業 況 (自 社)	7.9	56.1	36.0	-28.1	11.5	58.6	29.9	-18.4	10.2	62.5	27.3	-17.1
	前年同期(平成18年 1月～3月)に比べて				前期(平成18年10月～12月)に比べて				今 期 (平成19年 1月～3月)と比べた 来 期(平成19年 4月～6月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					8.6	79.1	12.3	-3.7	6.3	79.9	13.8	-7.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					8.5	83.0	8.5	0.0	5.6	84.5	9.9	-4.3
N 借 入 金 利					20.5	75.9	3.6	16.9	20.5	77.1	2.4	18.1

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 設 施	〇 A 機 器	福 利 厚 生 設 施	そ の 他	
今 期	7.9	0.0	14.3	14.3	42.9	28.6	42.9	0.0	0.0	92.1
来 期	12.6	0.0	18.2	36.4	54.5	9.1	27.3	0.0	0.0	87.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	22.7	43.0
同業者の進出	12.7	20.3
購買力の他地域への流出	12.7	29.1
消費者ニーズの変化への対応	7.6	32.9
店舗の狭隘・老朽化	3.8	13.9
駐車場の確保難	0.0	3.8
商品在庫の過剰	0.0	1.3
人件費の増加	0.0	2.5
人件費以外の経費の増加	3.8	13.9
販売単価の低下・上昇難	8.9	32.9
仕入単価の上昇	3.8	7.6
金利負担の増加	0.0	1.3
代金回収の悪化	0.0	3.8
事業資金の借入難	2.5	5.1
従業員の確保難	1.3	8.9
需要の停滞	18.9	45.6
その他	1.3	1.3

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期 (平成19年 1月～ 3月) の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業 況 (自 社)	2.9	52.2	44.9	-42.0
採 算 (経 常 利 益)	8.7	62.3	29.0	-20.3
従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	7.8	79.7	12.5	-4.7

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ぶつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成18年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成18年10月～ 12月)に比べて				前年同期(平成18年 4月～ 6月)と比べた 来 期(平成19年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 売 上 (収 入) 額	12.3	43.9	43.8	-31.5	15.1	37.0	47.9	-32.8	12.7	52.1	35.2	-22.5
B 客 単 価	2.8	73.3	23.9	-21.1	2.8	70.4	26.8	-24.0	1.4	75.7	22.9	-21.5
C 利 用 客 数	11.1	44.5	44.4	-33.3	9.9	40.8	49.3	-39.4	12.7	49.3	38.0	-25.3
D 資 金 繰 り	3.0	67.1	29.9	-26.9	3.0	70.1	26.9	-23.9	9.1	68.2	22.7	-13.6
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	27.9	64.7	7.4	20.5					29.9	64.1	6.0	23.9
F 採 算 (経 常 利 益)	6.9	57.0	36.1	-29.2					9.9	54.9	35.2	-25.3
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	4.5	74.6	20.9	-16.4					7.6	65.1	27.3	-19.7
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	9.3	76.7	14.0	-4.7					9.3	74.4	16.3	-7.0
I 業 況 (自 社)	5.6	45.8	48.6	-43.0	6.8	50.7	42.5	-35.7	12.7	50.7	36.6	-23.9
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	70.3	23.4	-17.1	6.3	77.8	15.9	-9.6
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					8.5	79.6	11.9	-3.4	10.3	81.1	8.6	1.7
N 借 入 金 利					22.6	72.6	4.8	17.8	27.4	69.4	3.2	24.2

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	建 物	サ-ビス設備	車両・運搬具	付帯施設	O A機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	17.8	0.0	30.8	15.4	15.4	38.5	15.4	0.0	23.1	82.2
来 期	17.4	8.3	16.7	33.3	16.7	25.0	16.7	0.0	16.7	82.6

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問 題 点	1 位	1～ 3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	13.6	19.7
新 規 参 入 業 者 の 増 加	10.6	16.7
利 用 者 ニ - ズ の 変 化 へ の 対 応	6.1	39.4
店 舗 施 設 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	4.5	12.1
人 件 費 の 増 加	7.6	18.2
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	4.5	19.7
利 用 料 金 の 低 下 ・ 上 昇 難	1.5	22.7
材 料 等 仕 入 単 価 の 上 昇	7.6	16.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	4.5
事 業 資 金 の 借 入 難	1.5	6.1
従 業 員 の 確 保 難	3.0	13.6
熟 練 従 業 員 の 確 保 難	6.1	18.2
需 要 の 停 滞	33.4	56.1
そ の 他	0.0	3.0